

平成22年12月期 第3四半期決算短信[日本基準](連結)

(氏名) 成瀬 正

(氏名) 森 善男

平成22年11月11日

上場会社名 新報国製鉄株式会社

URL http://www.shst.co.jp/

コード番号 5542 (役職名) 代表取締役社長

代表者 問合せ先責任者(役職名)常務取締役

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無

上場取引所 大

TEL 049-242-1950

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日~平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業利	l益	経常和	J益	四半期純	利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	2,593	86.2	△156	_	△152	_	△148	_
21年12月期第3四半期	1,392	△76.4	△833		△778		△905	_

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	△46.84	_
21年12月期第3四半期	△286.26	_

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	3,718	400	10.8	126.64
21年12月期	3,739	602	14.7	174.57

(参考) 自己資本

22年12月期第3四半期 400百万円

21年12月期 551百万円

2 配当の状況

2. 80 30 100	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	_	_	_	0.00	0.00
22年12月期	_	_	_		
22年12月期 (予想)				0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日~平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	J益	経常和	引益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	3,450	88.0	△40	_	△45	_	△50	_	△15.84

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

- 4. その他 (詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。)
- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
 - (注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
 - (注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
 - ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更

111

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期3Q 3,510,000株 21年12月期 3,510,000株 ② 期末自己株式数 22年12月期3Q 352,562株 21年12月期 352,204株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 22年12月期3Q 3,157,630株 21年12月期3Q 3,163,168株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

〇添付資料の目次

1.	<u> 1</u>	6四半期の連結業績等に関する定性的情報P. 2
	(1)	連結経営成績に関する定性的情報P. 2
	(2)	連結財政状態に関する定性的情報P. 2
	(3)	連結業績予想に関する定性的情報P. 3
2.	7	: の他の情報 ······P. 3
	(1)	重要な子会社の異動の概要P. 3
	(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要P. 3
	(3)	会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要P. 3
3.	<u>p</u> ī	9半期連結財務諸表 ······P. 4
	(1)	四半期連結貸借対照表 ·····P. 4
	(2)	四半期連結損益計算書 ······P. 6
	(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書P. 7
	(4)	継続企業の前提に関する注記 ·····P. 8
	(5)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ······P. 8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかな回復基調にあるものの、デフレ経済下での急激な円高の進行等、依然として厳しい状況で推移しました。

当社グループの主力製品である液晶露光装置用低膨張鋳鋼は、第2四半期連結会計期間に引き続き堅調でした。また、半導体露光装置用低膨張鋳鋼の受注も増加しましたが、シリコンウエファ研磨用定盤は、依然として設備投資が回復せず、当社受注には至っておりません。

従いまして、売上高は2,593百万円と前年同期比1,201百万円増収(86.2%増)となりました。損益につきましては、売上高の増加、コストダウンに努めたこと、また、構造改革の効果も現れ当第3四半期連結会計期間では営業利益17百万円と、ようやく黒字転換を達成することができました。当第3四半期連結累計期間では、営業損失は156百万円(前年同期は営業損失833百万円)、経常損失は152百万円(前年同期は経常損失778百万円)、四半期純損失は148百万円(前年同期は四半期純損失905百万円)と前年同期に比べ大幅に赤字幅は改善されましたが、第1四半期連結会計期間の大幅赤字を回復することはできませんでした。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末より20百万円減少し3,718百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少額428百万円及び未収入金の増加額422百万円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末より181百万円増加し3,318百万円となりました。これは主に支払手形及び 買掛金の増加額622百万円、長期借入金の減少額152百万円等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末より202百万円減少し400百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少額148百万円等によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対し428百万円減少し57百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは△54百万円(前年同期は△458百万円)となりました。これは主に未収入金の増加額422百万円、税金等調整前四半期純損失179百万円及び売上債権の増加額97百万円等の減少要因が、仕入債務の増加額622百万円及びたな卸資産の減少額180百万円等の増加要因を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは \triangle 294百万円(前年同期は \triangle 114百万円)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出258百万円及び子会社株式の取得による支出45百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは△79百万円(前年同期は670百万円)となりました。これは主 に長期借入金の返済による支出170百万円及び短期借入金の純増加額93百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成22年8月10日発表「平成22年12月期 第2四半期決算短信」の業績予想から変更ありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

①棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を 見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する 方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(単位:千円)

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

前連結会計年度末に係る 当第3四半期連結会計期間末 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日) (平成21年12月31日) 資産の部 流動資産 現金及び預金 565, 252 992, 990 受取手形及び売掛金 342,003 244, 832 351, 236 製品 319,862 仕掛品 550,651 650, 762 原材料 78,624 126, 899 未収入金 456, 025 34, 158 20,718 その他 33, 711 貸倒引当金 $\triangle 105$ $\triangle 31$ 流動資産合計 2, 346, 024 2, 421, 563 固定資産 有形固定資産 建物及び構築物(純額) 403, 455 401, 295 532, 733 532, 733 土地 その他 (純額) 338, 180 300,991 有形固定資産合計 1, 274, 368 1, 235, 019 無形固定資産 のれん 21,976 その他 5, 981 7,094 無形固定資産合計 7,094 27, 957 投資その他の資産 69,899 75,041 固定資産合計 1, 372, 223 1, 317, 154 資産合計 3, 718, 247 3, 738, 717 負債の部 流動負債 支払手形及び買掛金 304, 270 926, 466 短期借入金 1, 225, 851 1, 301, 045 未払法人税等 1,352 932 18,600 17,500 掌与引当金 事業構造改善引当金 5,986 設備関係支払手形 4,587 84, 756 その他 87, 401 368, 504 流動負債合計 2,007,799 2, 339, 450 固定負債 200,000 200,000 社債 長期借入金 440, 187 592, 557 退職給付引当金 100, 399 89, 226 役員退職慰労引当金 116, 352 238, 350 その他 131, 226 固定負債合計 978, 936 1, 129, 362 負債合計 3, 318, 386 3, 137, 161

(単位:千円)

		(井 小・111)
	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	175, 500	175, 500
資本剰余金	133, 432	133, 432
利益剰余金	202, 085	350, 002
自己株式	△121, 284	△121, 182
株主資本合計	389, 734	537, 753
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10, 128	13, 490
評価・換算差額等合計	10, 128	13, 490
少数株主持分	_	50, 313
純資産合計	399, 862	601, 556
負債純資産合計	3, 718, 247	3, 738, 717

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位:千円)

		(十三:111)
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	1, 392, 487	2, 593, 420
売上原価	1, 824, 304	2, 375, 351
売上総利益又は売上総損失(△)	<u></u> △431, 817	218, 069
販売費及び一般管理費	401, 380	373, 996
営業損失 (△)	△833, 197	△155, 927
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,832	1, 269
受取賃貸料	14, 750	14, 738
助成金収入	78, 194	2, 298
雑収入	14, 522	26, 201
営業外収益合計	109, 299	44, 506
営業外費用		
支払利息	20, 306	27, 231
原材料売却損	23, 222	_
雑支出	10, 900	13, 117
営業外費用合計	54, 428	40, 349
経常損失 (△)	△778, 326	△151, 770
特別利益		
固定資産売却益	-	8, 331
役員退職慰労引当金戻入額	136, 991	
特別利益合計	136, 991	8, 331
特別損失		
固定資産除却損	1, 995	192
事業構造改善費用	309, 444	8, 935
土壤調査費	<u> </u>	26, 281
特別損失合計	311, 439	35, 408
税金等調整前四半期純損失 (△)	△952,774	△178, 847
法人税、住民税及び事業税	1,013	833
法人税等調整額	8, 791	
法人税等合計	9, 803	833
少数株主損失(△)	△57, 096	△31, 762
四半期純損失 (△)	△905, 481	△147, 917
	-	

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

		(単位:十円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△952 , 774	△178, 847
減価償却費	104, 172	111, 523
のれん償却額	_	4, 395
減損損失	191, 604	_
有形固定資産除却損	1, 995	192
有形固定資産売却損益(△は益)	_	△8, 331
貸倒引当金の増減額(△は減少)	112	△16
賞与引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 250$	1, 100
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	117, 840	△5, 986
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12, 234	11, 173
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△128, 284	_
受取利息及び受取配当金	△1,832	$\triangle 1,269$
支払利息	20, 306	27, 231
売上債権の増減額(△は増加)	642, 231	△97, 171
たな卸資産の増減額 (△は増加)	483, 559	179, 759
仕入債務の増減額 (△は減少)	△746, 632	622, 196
未収入金の増減額(△は増加)	$\triangle 7,052$	△421, 868
その他	△78, 125	△271, 388
小計	△340, 897	△27, 306
利息及び配当金の受取額	1, 832	1, 259
利息の支払額	$\triangle 22,724$	$\triangle 27,358$
法人税等の支払額	△96, 182	△675
営業活動によるキャッシュ・フロー	△457, 970	△54, 081
投資活動によるキャッシュ・フロー		△01, 001
有形固定資産の取得による支出	△110, 941	$\triangle 258, 265$
有形固定資産の売却による収入	△110, 941	9, 718
ソフトウエアの取得による支出	$\triangle 1, 150$	9, 710
子会社株式の取得による支出	△1, 150	△45, 000
その他	$\triangle 1,436$	△639
投資活動によるキャッシュ・フロー		
	<u>△113, 527</u>	△294, 186
財務活動によるキャッシュ・フロー	CD CCA	00.000
短期借入金の純増減額(△は減少)	63, 664	93, 293
長期借入れによる収入	780,000	
長期借入金の返済による支出	△145, 034	$\triangle 170,470$
社債の発行による収入	195, 683	
社債の償還による支出	$\triangle 200,000$	
自己株式の取得による支出	$\triangle 2,542$	△102
リース債務の返済による支出		$\triangle 2, 149$
配当金の支払額	△18, 619	$\triangle 43$
少数株主への配当金の支払額	△3,600	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	669, 552	\triangle 79, 471
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	98, 054	△427, 738
現金及び現金同等物の期首残高	127, 790	484, 790
現金及び現金同等物の四半期末残高	225, 845	57, 052

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。